

「がんと生きる私」表現

リリー・オンコロジー・オン・キャンパス 作品展

製鉄記念室蘭病院

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)で、がん患者や家族を対象にした絵画・写真・絵手紙コンテスト「第7回リリー・オンコロジー・オン・キャンパス」の作品が展示されており、「がんと生きる、わたしの物語」をテーマにした作品の数々が来院者の注目を集めている。9月26日までの開催。(松岡秀直)



「がんと生きる、わたしの物語」をテーマにした作品の数々が展示されている

米製薬大手の日本法人・日本イーライリリー(神戸市)が主催。がん告知時の不安、がんと共に生きる決意、がんと分かっ
て変化した自身の生き方などについて
の思いを、短いエッセーにまとめた上で、「絵画・写真・絵手紙」で表現するコンテスト。

同病院では今年も「リリー・フォー・ライフ・ジャパン(RFL)2018室蘭」の開催(25、26日)に合わせて開催。同病院がん診療センター「せいいてつギャラリー」には、各部門の最優秀賞や優秀賞などの作品7点が展示。

写真部門最優秀賞「その先に」の砂原涼志さんは19歳で血液のがんを発症。「もう私に未来はないんだ、死ぬのかな」と思ったが、発症から5年がたつて完治し、結婚。「必死に生き、彼女を追い掛け一緒に歩いていきたい」思いと、「がんに学ばされ、これからはがんとともに生きていく」決意を表現した。

展示を担当する同病院経営企画課の通千賀子さんは「何かを抱えているからこそ、強く生きる」とする決意も感じられるなど、勇気つけられる作品ばかり。ぜひ「覧」になってほしいと話している。今月28日からは「第8回の受賞作」が展示される予定。